

議会だより

2 2017年
月号
No.19

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>



📷 バイオマス資源化センターみとよ

バイオマス資源化センターみとよ内部

12月定例会

- ②公開議員研修会
- ③議案報告
- ⑤審議結果
- ⑥一般質問
- ⑭常任委員会
- ⑯視察研修報告
- ⑰議会報告
- ⑳三豊市に住んでみて

公開 三豊市議会議員研修会開催



12月3日、市立財田小学校体育館で、三豊市財田町出身でNHKニュースキャスターの河野憲治氏を講師にお招きして、三豊市市制10周年記念公開議員研修会を開催いたしましたところ、市内外から、約700人もの皆さんにご参加いただき、ありがとうございます。

「世界はどこへ向かうのか〜テレビ報道の現場から〜」と題した研修会では、河野氏がキャスターを務めるニュースウオッチ9の舞台裏の話で会場を和ませ、またアメリカ大統領選挙で次期大統領にトランプ氏が決まった要因。その後のアジア、ロシア、ヨーロッパへの影響など世界の動

きについて、キャスターらしくわかりやすい言葉で最新情報をお話いただいたほか、参加者から寄せられた質問にも、気軽にユーモアも交えお答えいただきました。

講演後には、財田小学校の先輩である河野氏に対し、地元小学生二人から、お礼の花束贈呈が行われました。

三豊市議会では、平成25年4月1日から議会基本条例を施行し、議員の能力向上を図るため、議員研修会を開催する旨を規定しており、例年、議場等で研修会を開催してまいりました。本年は、市制施行10周年ということで、特に市民の皆さんと一緒に研修を受けることができると、以前から要望がありました河野氏をお招きし、二つの小学校を統合し、本年度新設開校をした財田小学校校体育館で開催した次第です。

会場準備、駐車場係、司会進行、後片付けと、議員自ら

が行い、会場にお越しいただいた皆さん方からもお声かけいただき、大変励みになりました。研修会は毎年行う予定ですので、今後ともご参加のほどよろしくお願ひします。



議員の感想

最初の驚きは、NHK夜の顔番組ニュースウオッチ9のキャスターが三豊市財田町出身だということです。地元のよしみで、こころよく講師を引き受けていただき、入場時からの河野憲治氏のほほ笑みと、優しさあふれる語り口が最高でした。

河野憲治氏の講演は、穏やかな天候に恵まれ約700人あまりの来場で盛大に行われ、新財田小学校が満席になりました。アメリカ大統領選挙の動向やニュースウオッチ9の裏話などが印象的で、私たちにもわかりやすい講話で30分超過の大盛況でした。議員が一丸となった研修会開催の成功は、次年度への弾みになりました。

演題「世界はどこへ向かうのか〜テレビ報道の現場から〜」の視点からお話をいただきました。スタジオから台所までどのようにして情報が届けられるのか、大変分かりやすかったです。オバマ大統領の広島訪問がどのような経過で実現したかなど理解できました。そして、アメリカ大統領にトランプ氏が決まった後、世界はどう変わるか問題提起をされたように思います。

大平 敏弘 議員

金子 辰男 議員

岩田 秀樹 議員

平成28年第4回 三豊市議会定例会

平成28年第4回三豊市議会定例会は、12月6日から22日までの17日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成28年度一般会計補正予算1億5,989万1千円など各会計予算9件、条例に関する議案11件、香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更9件、工事請負契約の締結3件など合計34議案を可決、その他、意見書案2件、議員派遣1件を可決、請願2件を継続審査としました。

人事案件では、教育委員会委員の任命1件、人権擁護委員候補者の推薦2件について同意しました。そして、特別委員会を設置について可決しました。

平成28年度12月補正予算



一般会計	1億5,989万1千円 総額319億2,508万9千円	増
特別会計（7会計）	8,581万2千円 総額193億481万2千円	増
水道事業会計	1,285万8千円 総額25億213万4千円	増

条例制定

●定住促進住宅設置及び管理
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から雇用促進住宅「高瀬宿舎」を取得し、平成29年1月から定住促進住宅として供用を開始するため、条例の制定をするもの

●みとよ未来創造館条例
平成29年3月末日をもって高瀬町公民館の建物を閉鎖し、公民館機能を現在の高瀬町農村環境改善センターに移転し、新たに生涯学習施設として管理運営するため、条例の制定をするもの

また、農村環境改善センター条例および公民館条例を

条例改正

改正する必要があるため、併せて条例の一部改正をするもの

●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の一部改正をするもの

●行政組織条例
平成29年4月1日付けで実施する本市の組織機構改革に伴い、部の分掌事務を変更するため、条例の一部改正をするもの

るもの

●市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例
●市特別職の職員で常勤のものとの給与等に関する条例

人事院勧告により、一般職の国家公務員の給与改定があり、それに準じて特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例および市特別職の職員で常勤のものとの給与等に関する条例を平成28年12月期に限り、支給率を0.1月分、平成29年4月1日からは現行より6月期、12月期ともに0.05月分引き上げるため一部改正をするもの

●市職員の給与に関する条例
人事院勧告による一般職の国家公務員の給与改定および香川県人事委員会による勧告に基づき、市職員の給与改定および勤勉手当等の規定を改正するため、条例の一部改正をするもの

●工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例

地域の自主性および自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、条例の一部改正をするもの

●印鑑条例

マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアにおける印鑑登録証明書の交付サービスを平成29年4月から開始するとともに、印鑑登録原票および印鑑登録証明書の「男女の別」を削除するため条例の一部改正をするもの

●税条例等

「地方税法等の一部を改正する等の法律」および「地方税法施行令等の一部を改正する等の政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令」が公布されたことに伴い、税条例等を改正する必要があるため、条例の一部改正をするもの

●国民健康保険税条例

「所得税法等の一部を改正する法律」および「外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令等の一部を改正する政令」が

公布されたことに伴い、国民健康保険税条例を改正する必要が生じたため、条例の一部改正をするもの

その他

●香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更（三豊市8財産区）

三観衛生組合が、平成29年3月31日をもって香川県市町総合事務組合から脱退することに伴い、一部事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び一部事務組合の規約の変更に係る関係地方公共団体の協議が必要となったため、議会の議決を求めるもの

●三観衛生組合の解散

三観衛生組合が、し尿処理業務の共同処理の事務を終了し、平成29年3月31日をもって解散することに伴い、一部事務組合の解散に係る関係地方公共団体の協議が必要となったため、議会の議決を求めるもの

●三観衛生組合の解散に伴う財産処分

三観衛生組合が、平成29年

3月31日をもって解散することに伴い、一部事務組合の財産処分に係る関係地方公共団体の協議が必要となったため、議会の議決を求めるもの

●工事請負契約の締結

○28年度北部火葬場（仮称）建築工事

○28年度北部火葬場（仮称）電気設備工事

○28年度北部火葬場（仮称）火葬炉設備工事

人事案件（敬省略）

■教育委員会委員の任命
山崎 市子（財田町財田上）

■人権擁護委員候補者の推薦
十川 剛（豊中町比地大）
小野 敏夫（詫間町詫間）

議員提出議案

●特別委員会の設置

永康病院の今後のあり方について調査研究を目的に「永康病院調査特別委員会」を設置するもの

委員長 詫間 政司

副委員長 浜口 恭行

委員 宝城 明・三宅 静雄・

香川 努・為広 員史・

横山 強・川北 善伴・

三木 秀樹・込山 文吉・

丸戸 研二・岩田 秀樹

請願

●瀬戸グリーンハイツ内の生活道の市道認定に関する請願

■提出者 坪井 広繁
相続が複雑で名義変更が困難なため市道認定の上、名義変更業務をお願いする

●市立高瀬地域子育て支援センターの今後について

■提出者 河野 玲菜
耐震調査で基準を著しく下回っている。現在地での早急な改築工事を希望する

意見書案

●安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

●地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

議員派遣

・香川県市議会議長会県外合同視察研修会

・香川県市議会議長会議員研修会

議会議長特別委員の辞任及び選任（平成28年12月22日付）

（辞任）横山 強

（選任）大平 敏弘

金子 辰男

議会議事日程

10月

- 19日～21日 議会運営委員会視察研修
- 24日～25日 三観広域行政組合議会視察研修
- 26日 広聴会議
- 27日～28日 民生常任委員会
- 27日 議会広報委員会視察研修

11月

- 1日 議会運営委員会
- 4日 民生常任委員会
- 7日 議会活性化特別委員会
- 8日 離島振興市町村議会議長全国大会
- 10日 全国競艇主催地議会協議会
- 11日 広聴会議
- 18日 全国市議会議長会建設運輸委員会
- 21日 建設経済常任委員会
- 24日～25日 三豊総合病院企業団議会視察研修
- 28日 三観広域行政組合議会
- 29日 総務教育常任委員会
- 29日 全員協議会
- 30日 民生常任委員会

12月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 公開市議会議員研修会
- 5日 民生常任委員会
- 6日 定例会
- 9日 議会広報委員会
- 12日 定例会（一般質問）
- 13日 定例会（一般質問）
- 14日 全員協議会
- 15日 総務教育常任委員会
- 16日 建設経済常任委員会
- 20日 民生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 22日 三豊総合病院企業団議会
- 22日 定例会
- 22日 永康病院調査特別委員会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 議会活性化特別委員会
- 11日 議会広報委員会
- 13日 広聴会議
- 16日 議会広報委員会
- 17日 全員協議会
- 19日～20日 県議会議長会県外合同視察研修会

平成28年第4回（12月）定例会

■全会一致の議案

議案名等	議決結果
平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
定住促進住宅設置及び管理条例の制定について	原案可決
行政組織条例の一部改正について	原案可決
市特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部改正について	原案可決
市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	原案可決
印鑑条例の一部改正について	原案可決
税条例等の一部改正について	原案可決
国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更について（三豊市、辻財産区、神田財産区、河内財産区、財田大野財産区、大見財産区、下高瀬財産区、桑山財産区、比地大財産区）	原案可決
三観衛生組合の解散について	原案可決
三観衛生組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
工事請負契約の締結について（平成28年度北部火葬場（仮称）建築工事）	原案可決
工事請負契約の締結について（平成28年度北部火葬場（仮称）電気設備工事）	原案可決
工事請負契約の締結について（平成28年度北部火葬場（仮称）火葬炉設備工事）	原案可決
教育委員会委員の任命について（山崎 市子）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（十川 剛）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（小野 敏夫）	原案同意
特別委員会の設置について	原案可決
瀬戸グリーンハイツ内の生活道の市道認定に関する請願	継続審査
市立高瀬地域子育て支援センターの今後について	継続審査
安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書	原案可決
議員派遣について	可決

※人事案件（敬省略）

■賛否が分かれた議案

議案名等	議員名																						議決結果
	1 市川 洋介	2 石井 勢三	3 岩田 秀樹	4 浜口 恭行	5 丸戸 研二	6 水本眞 奈美	7 込山 文吉	8 西山 彰人	9 三木 秀樹	10 詫間 政司	11 金子 辰男	12 近藤 久志	13 川北 善伴	14 城中 利文	15 大平 敏弘	16 横山 強	17 鴨田 偕	18 為広 員史	19 香川 努	20 三宅 静雄	21 瀧本 文字	22 宝城 明	
平成28年度一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 （賛20、反1）
みとよ未来創造館条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案可決 （賛20、反1）
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 （賛20、反1）
市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 （賛18、反3）
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 （賛20、反1）

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長 14番 城中 利文）

公共施設総合マネジメントについて

問 インフラも含めた総合的・統括的計画が必要でないか。

答 河川や土地改良施設等も含め、今後、市に関する資産を明らかにして計画的に対応したい。

問 農道や市道、河川などの管理・運用において、同類施設であっても差異が生じている部分がある。この認識と解消策をどう考えるか。

答 合併から10年を経ており、今後、均衡を図るよう是正したい。

問 市管理農道については、現状を十分調査し、新たな認定基準をつくりたい。市河川については、現状を踏まえ、適正管理の支援をしているが、単独補助なども実施する。企業誘致に必要な道路については、市道認定をして道路を新設するなど対応する。

有害鳥獣対策について

問 捕獲した有害鳥獣は、現在どう処理しているのか。

答 大部分は地中埋設処理をしていると認識している。

問 衛生的課題や捕獲者の負担軽減のため、処理施設が必要でないか。

答 捕獲頭数が増加しており、捕獲者の負担軽減のため、処理施設が必要になると認識している。

問 非常に簡便な方式として、バックテリアによる分解方式を採用している例がある、研究してみてもどうか。導入事業費についても、国庫補助や交付税などで約90%が支援されている。

答 先進事例を視察したところ、建物と機械設備で約1,500万円、光熱水費が年間約60万円程度という例もあった。近県では既に整備されている自治体もあり、真剣に検討したい。

問 運営方法とタイムスケジュールはどう考えるか。

答 設置は三豊市、運営は民間主導という方向で、設置場所についても検討したい。整備の時間軸については、近々の問題と受け止めている。



▲発酵分解方式によるイノシシ等処理装置

水族館の誘致について

問 土地は無償で貸与し、それ以外市費は1円も出さないと聞いているがその確認をお願いしたい。また、水族館が最短でいつオープンするか教えてほしい。

答 その施設建設費および施設運営維持費については、民間事業者の独立採算事業として行うので、市はその費用を一切負担しない事業方式である。来年にかけて公募し、応募者があれば、その2年後、平成31年開設を想定している。



三豊市南部学校給食センターの経過について

問 9月議会会で「幼稚園の給食でいろいろな問題が発生しているとそこで働く人たちが聞いたが、小

学校等でも調査し、12月議会会で結果をお知らせいただきたい」と発言していた。すでに、多くの問題について努力しているとは伺っているが、どうなったのか教えてほしい。

答 献立委員会、幼稚園、小学校、中学校、25の受配校より質問、意見を聞きながら現場の声を把握し、改善に向けて動いている。



▲三豊市南部学校給食センター

施設の民間委託について

問 学校の統廃合は十分説明し、市民の反対を押し切って強行しないと言っているが、強行しないと約束するのか。松崎保育所の民間委託の説明会に事業者が説明に来ていたと聞くが、癒着、談合ではないか。

答 十分に説明を行い、理解と納得をいただいたうえで進める。事業者の参加は適当と判断し、決定した。

浜口 恭行 議員

若い世代や若い女性などの支援策について

問 若い世代、特に若い女性たちが生き生きと活動できるまちを目指し、アンケート調査も実施されたが、来年度においてどのような施策をする予定があるのか。

答 人口減少対策に即効性のある事業はないが、どの施策に重点的に力を注いでいくのか、厳しい財政状況の中で、未来につながる取捨選択をしていかなければならない。

具体的には、今後議会との議論が必要となるが、保育料の大胆な減額や就学前教育の無償化等を前進させ子育て世代の女性が住みやすい環境を整えていきたいと考えている。

三豊市うらしまマラソン大会の総括について

問 市民有志による実行委員会が企画した「第1回三豊市うらしまマラソン大会」について、本市の知名度向上や地域活性化イベントに寄与したと考えるが、当局の感想を聞く。

答 マラソン大会をはじめとする市民力によるさまざまなイベントの成功は、実践者が持つ潜在力の高さを示していただいた。市民が主体

的に実践する動き、これらの支援こそがこれからの本市の役割であるとも考えている。

今後もこの動きを「三豊市モデル」として、市は支援・後押しして行くべきであると考えている。



▲第1回三豊市うらしまマラソン大会

防災・減災マネジメントについて

問 本市でも、地域住民の防災力向上のため、目標設定と達成方式を明示した防災・減災マネジメントを実施する必要があると思うが、どう考えるか。

答 防災・減災マネジメントの定義については、被害抑止、被害軽減、応急対策、復旧・復興の四つのサイクルに種別でき、本市としても、この四つのサイクルを適時モニタリングしながら、施策の調整、変更を行い、将来的にマネジメントを行っていききたい。

込山 文吉 議員

企業版ふるさと納税の取り組みについて

問 国が認定する自治体の地域活性化事業に寄附した企業が税控除を受けられる企業版ふるさと納税が本年度からスタートした。今後企業に事業を売り込むために人と人脈が必要。どのような戦略、考えがあるかを聞く。

答 地方創生を実現するためには、産・学・官・金・労・言の各界各層の参画と協力のもとで、市の方向性を担う重要事業に取り組むことは大変重要である。詫間臨海地区における造船所跡地を核としたにぎわい創造事業について、地方創生応援税制の活用を念頭に、申請に向けて精査をしている。寄附企業については、本事業に賛同をいただいている本社を市外に置く周辺企業を中心に協力をお願いしたい。

教育機会確保法について

問 文部科学省が発表した昨年度の問題行動調査で、中学校での不登校生徒数約9万8千人にのぼり、不登校が教育現場の大きな課題として認識されながらも、改善のきざしが見えない現状であることが判明し

た。不登校のまま義務教育を修了した子どもたちにも学ぶ環境を確保すべきではないか。

答 市内に現時点においてフリースクールはないが、教育機会確保法で取り上げられている学校復帰を指導する自治体の教育支援センターに当たる不登校教育支援センターを市内に1カ所設置しており、そこを現在8人が利用している。今後市としてどのような形が考えられるか、検討していく。



市民税・固定資産税の滞納処分について

問 納税している市民の皆さまに不信感、不公平感を持たれないように徴収体制を強化し、滞納者に対する法的措置等も含む対策を講じる必要は。

答 搜索、差し押さえなど、法令に基づき処分を行い、滞納を完納に導くよう努めていく。

近藤 久志 議員

地方創生に対する財政活用について

問 市の地方創生総合戦略基本目標ごとの施策・事業で、28年度創生推進交付金および拠点整備交付金と、地域再生計画の概要について。

答 推進交付金の内容は、詫間臨海地区における造船所跡地を核としたにぎわい創造事業について、用地賃借に係る貸付条件等の整理、事業者公募に関する要項、要領の作成、契約に関するまでの業務を行う。

拠点整備交付金は、みとよ未来創造館を核とした多世代交流事業として申請の準備を進めており、高瀬町図書館移転に係る高瀬町農村環境改善センター1階部分の改修を予定しているが、再生計画では、現公民館図書館の部分まで含めたエリアを対象にし、子育て世代を中心に若い女性のニーズを大切にして、既成概念にとらわれない新しい感覚で教育文化の振興と子育て支援の充実を図り、新たな人の流れを生み出し、子どもから高齢者までが触れ合い、育み合い、エリア一体に新たな歓声とにぎわいを創出することで、定住意識の醸成や移住促進を図る。



▲みとよ未来創造館を核に多世代交流拠点

三豊市の学校給食について

問 南部学校給食センター開設での調理業務、業務運営委託等成果と評価をまとめ、給食正規職員研修を含めた、検証期間を設けた後に北部給食センターの建築をすべきでないか。

答 献立委員会等で活発な議論が交わされた時期もあり、その後の内容は後に、機材の検討や献立調理に生かされている。南部学校給食センターの運営状況を検証しながら、合併特例債の期限内に北部地区の建設について協議を行う。

その他の質問

○高瀬駅を含む拠点整備について

大平 敏弘 議員

住民サービスの広域基準づくりから魅力的な香川三豊づくりを

問 特に子育て支援について子育てするなら三豊が一番で、いろんな手を打ってきた。他市も追いついてきたが、隣接市との激しい子育て支援政策競争から西讃・香川と支援策を共有すべき時期では。

答 自治体間での人口の奪い合い、子育て施策の競争激化ということとだが、確かに香川県内だけでなく、全国的にも同様の状況が見受けられる。その背景には、国がまち・ひと・しごと創生法の目的の一つとして人口減少に歯止めをかけることを掲げ、地方版総合戦略においても、各自治体が自主性、自立性を発揮し、地域の実情に沿った戦略の策定が求められていることに起因しているものと考えている。指摘のとおり、子育て支援をはじめ、移住・定住施策については、ある意味、自治体間の消耗戦の様相を呈しているというのが正直な実感。全国市長会や香川県知事との県内市長会との話し合いでも、このことはたびたび取り上げられているが、本来はナショナルミニマムとして国または県が統一した均



▲高瀬地域子育て支援センターの改築存続の希望は…

その他の質問

○学童保育の民営公立保育併用の現状と課題、ニーズの動向と今後の展望

石井 勢三 議員

三豊市の特産品の販売促進について

問 三豊市の特産品には、市場化されずに眠る有望な素材が、さらには、磨きをかければ注目される資源がたくさんある。このような物産品の販売促進についての市の考えを聞く。

答 販路拡大のための地域の司令塔として、民間主体の地域商社の設立に向け、人材育成と首都圏との関係地づくりを軸に土台整備事業を行っている。地域商社は、地域が稼ぐ仕組みを構築するもので、生産者が変わってマーケティングを行うにつ、海外も視野に入れて販路の開拓サポートをしていくもの。今後、29年度に法人設立、30年度から31年度にかけて商品開発、ブランディング等のサポートをし、その後は法人として自立をして利益を上げながら地域商社の役割を担っていく。地域商社を中心に市場の声を反映したブランディングを行い、販路開拓を行っていく。



三豊市内の小中学校のホームページについて

問 学校におけるホームページは、家族と学校の情報および連絡網として最も有効で便利な手段と考えられる。市内の学校の現状は、十分活用されていない。今後の市の考えを問う。

答 三豊市内の小中学校のホームページは、学校管理で運営されており、学校だよりや行事予定、活動写真集など、更新頻度はさまざまな状態となっている。今後多くの教諭が更新できるようなICTの仕組みが必要。小中学校で統一されたホームページ管理システムの運用を検討していくとともに、保護者や地域の住民のニーズに沿ったホームページを構築していくことが必要であると考えている。市内学校の情報が適切に広く発信できるように進めていきたい。



金子 辰男 議員

若者定住促進事業について

問 若者定住補助、短期滞在者支援事業、空き家バンク制度のこれまでの事業経過と成果を問う。

答 補助対象事業費ベースで110億円超の額が市内で経済循環し、市内に新規営業所設置事業者は9社とプラス効果が出ている。若者定住補助は3年延長する事を明確にし、人口減少対策として効果的に実施したい。

地域商社事業とその支援策について

問 地域経済を活性化するための地域商社、研修会後の人材発掘、今後の方針や方向性について問う。

答 現在22の法人、個人が参加している。国も地方創生の柱として応援いただいている。丸の内朝大では首都圏の消費者に高価格の観光商品を販売し、高満足を得ており、次年度にはパブリックベンチャーである地域商社を設立したい。

山本町の幼稚園、保育所の今後は

問 山本町の幼稚園、保育所の今後について住民の声を聞く方法は、

答 幼稚園は4カ所あり、統合問題が出ている。地域はもとより保

護者の声が大切。大野小学校跡地に建設計画があるが、市民への説明はまだ行っていない。今後、意見を聞き、順を追って進める。

骨髄バンクドナー登録支援について

問 市としての骨髄バンク登録に対する周知の取り組みやドナーへの助成制度を聞く。

答 市では献血時にドナー登録会を行っている。パンフレットで啓発活動も行っている。支援制度については他自治体を参考にしたい。

薬物乱用防止対策について

問 市内の薬物乱用の現状と、どのような防止対策をとっているのか。

答 覚せい剤2人大麻1人の検挙者がいる。防止対策は県が主体で実施。啓発活動については高瀬駅前、健康福祉まつり等で実施している。



▶薬物乱用のない社会を

詫間 政司 議員

女性が輝くための子育て支援事業の一環とした、就業相談事業の実施について

問 地域活性化センターの助成事業としてNPO法人が主催する、子育て中の女性を対象とした就労支援勉強会で、子育てのため働くことから離れている女性の能力の素晴らしさに驚いた。参加した企業からは優秀な人なら短時間勤務など要望に応えた就労環境を整えてもいいとの声もあり、この機会がなければ出会うことのなかった企業と人がつながったのだ。市が幼稚園等に開催のチラシ配布を手伝っただけで、情報が届き効果が出た。子育て支援センター等で子育て支援事業の一環とした就業相談の実施の考えを問う。

答 現在、市では子育て世代の育児と両立できる仕事の相談は、ハローワークの仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供などを行う、マザーズコーナーへつなぐ対応となっている。29年度中に第3次男女共同参画プランを策定する予定であり、これにあわせて女性の職業生活における活躍についての推進計画も策定する予定だ。議員提案の子育て支援事業の一環として専門家への就

業相談事業の委託実施は、労働力不足時代の有力な潜在労働力の可能性があり、この計画策定の中で必ず考える。



▲就業支援勉強会「ゆるキャリ座談会」

待機児童対策としての保育施設利用支援について

問 保育施設には認可と認可外の区別があるが、制度上のことであり利用者にとっては、日々の保育が満足のいくものであることが一番だ。国の制度改正で利用負担に差があるが、改善の考えを問う。

答 次年度に向け、保育料、教育費の負担軽減を検討しており、予算を整理、廃止、合理化し、その原資を生み出し制度設計する。

水本 真奈美 議員

避難所運営について

問 ①避難所運営をどう推進していくのか。②避難所支援班について③在日外国人への対応④通電火災予防の感電ブレイカー設置⑤太陽光発電式の防犯灯および地震解除キーボックスの設置について問う。

答 ①避難所管理運営標準マニュアルを作成し基本的方針を示した。今後、地域版マニュアルを作成するが防災指導員や防災士会も協議に加わり策定、活用、女性参画も図る。②避難所支援班は、本年度策定する職員の応急期人員配置計画に基づき活用を図る。③初期期は国際交流協会等の協力を得て対応を図る。ボランティアセンターの開設後は事務を引き継ぎ対応する。④家庭用耐震ブレイカーは1千〜4千円前後で購入でき、推進普及に努める。⑥費用対効果を勘案し検討する。

他、ペット同行避難について質問する。

読書運動の充実について

問 ブックスタート事業の状況を問う。

答 4カ月児を対象に絵本や子育てアドバイス集など図書館でお渡

しする事業である。配布率は27年度で76%、目標を30年度90%と定めている。今後は幼児期からの読み聞かせの重要性について引き続き啓発し、配布方法を検討し向上に努める。



問 小学校入学時に自分で選ぶマイブックとして読書への興味を高め読書習慣の定着につながるセカンドブック事業を導入してはどうか。

答 セカンドブックは3歳児健診や小学校入学時に絵本を新たにお渡しし、子どもに読書習慣をつけるきっかけとする事業である。本に興味や関心を持ってもらい子どもが本を好きになる取り組みと考える。今後は、他市の実施状況等を参考に調査研究していく。

他に子ども読書活動推進計画について質問する。

瀧本文子 議員

図書館再編基本構想について

問 ①策定中の基本「構想」から具体化される基本「計画」に至るスケジュールについて②市立図書館のソフト面の公共サービス（図書館奉仕という）の取り組み状況について③公立図書館は憲法の基本的人権の「知る権利」を保障する大切な公共サービスだが、基本構想にどのように記述されるか、伺う。

答 ①市民アンケート結果を踏まえて基本構想の素案を作成し、その後、議会や図書館協議会に諮り、作成する。②図書サービスとは、図書や記録、視聴覚教育の資料を収集すること。図書館職員が、その資料について十分な知識を持ち、利用者の相談に応じたり、他図書館と密な連携を図ること。また読書会、研究会、鑑賞会を主催し、利用者の「知る権利」を保障するものと認識している。市では読み聞かせボランティアの資質向上に力を注いでいる。ITインフラの進化とともに多様化するニーズに、今後対応していきたい。③図書館の役割とは、市民が自主的に学ぶ機会を保障する場であり、幅広い年代の人々が交流し楽しむ場であること。市立図書館の現状分析や、新サービスの検討、将来の財政状況を踏まえた図書館運営を盛り込む予定である。



▲現在の高瀬町図書館

性同一性障害の方の保険証等の性別表記について

問 被保険者の希望で保険証等の裏面に性別記載が可能である。性同一性障害の方の申し出を想定し、市で検討してはどうか。

答 被保険者が戸籍上の性別を記載したくない申し出があり、保険者がやむを得ない理由と判断した場合、認められる。平成30年に向けた国保の県広域化協議の中で検討する。

その他の質問

○放課後児童クラブについて

鴨田 偕 議員

市内、小中学校および公共施設の洋式便器の設置率について

問 家庭では洋式便器が主流となっており、子どもたちから和式便器は使いづらいとの声が出ているにもかかわらず、改修が進んでいないようだ。大半の市町が新築や改修の際に、洋式便器率を50%から90%以上にする方針を上げるが、予算不足などの事情により、迅速にできていないのが実情であるようである。三豊市内の小中学校での洋式便器の設置率は県内8市中で最下位であり、27・4%である。低学年の生徒の中にはトイレの使用を辛抱して、結果勉学にも支障を来たす場合もあるようだ。

答 また公共施設や産直の施設などの利用者も高齢化が進み、お年寄りが多くなっている。バリアフリー観点から洋式便器の設置を果敢に取り組むべきではないのか。市長と教育長の見解を伺う。

答 市内のご家庭でも洋式化がかなり進んでおり、高齢者への配慮や生活スタイルの変化に応じた施設の対応が求められているのは当然であると考えている。利用状況や建設

年次が古い施設については、公共施設の再配置計画との整合性も取る必要性があるので、対応についてはなかなか難しいところがあるとは思いますが、改修などに合わせて対応可能なものについては進めていきたいと考えている。

市内全小中学校を対象とした洋式便器設置状況調査の結果を踏まえ、まずは普通教室など学年フロアである各階の男女の洋式便器設置を優先的に行うこととする。また、学校には避難所に指定されている施設も多くあることから、指定施設の洋式化整備も進めていく計画である。



香川 努 議員

市立病院今後のあり方について

問 永康病院一部建て替えの案が示されたが、あまりにも唐突に、合併特例債の期限に合わせ、場所も病床数も内部協議だけで決めた案に思える。民間病院も含む地域医療構想を精査し、見極め、新改革プランに明記して、有識者の助言を求めながら、将来を見据えて、十分な議論が必要ではないか。

答 合併特例債の期限は一つの時限として意識はしてきた。県が出した地域医療構想の流れに沿いながら、永康病院の役割を確認して、検討を重ねて提案した。病院経営は今以上に厳しくなると思う。新公立病院改革プラン検討委員会が構成され、専門家を招いての議論も始まっている。公立病院で取り組むなら、次世代に引き継ぐ、重要な案件となる。議会の十分な議論をいただきたい。

庁舎周辺整備について

問 高瀬町公民館にある調理場の移転先が決まっていない。中央での行事ごとが沢山あり、また災害時や若い世代の食育を考えても、庁舎周辺に必要な施設ではないか。

答 拠点エリアの整備は民間活力、民間投資を引き込んでやりたいと考えている。ご指摘の施設の機能などをどう含めていけるか、協議していきたい。

コウノトリの生育環境整備について

問 コウノトリを守る会や有志が、生育環境整備のために努力をしている。国の制度活用などを含め、市の協力、支援は。

答 保護活動、環境整備については、環境省にも問い合わせをしている。事業目的にかなう制度等について、情報収集、情報提供を行うなど、今後とも協力、支援をしていきたい。



▲手作りビオトープのコウノトリ

報酬審議会の開催

問 合併して10年になる。報酬審議会を開催しては。

答 前回の審議会からも6年が経過する。29年度に開催したい。

岩田 秀 樹 議員

通学路安全確保対策は

問 2012年、全国で通学路の緊急点検を実施し、対策が必要なものについては、安全対策を行って発生している。

第一義的には、通学路における車道と歩道の分離が優先課題だが、財政上や用地確保の問題で、通学路の歩道設置は現実には進んでいない。

二度と交通事故を起こさないために、周辺の地域住民の参加による合意を前提に、歩行者の安全確保を掲げ、通学時の自動車走行の規制・制限速度規制・登下校時の許可車両以外の進入禁止などを掲げ検討するべきではないか。

安全対策

答 策について、現地診断を行い、カラー舗装や路面標示など運転者に対して注意喚起を行ってきた。通



▲通学風景

学路は学校が通学の安全確保と教育的環境維持のために指定している道路で、生活道でもある。迂回路があることが前提で通行許可が必要となることから、規制を設けることは厳しい状況。

就学援助の支給改善を

問 低所得者に支給する就学援助金の実態からかけ離れている。2015年通知は、「要保護者への支給は年度の当初から開始し、各費目について、児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう十分配慮すること」と述べている。この様な状況の中、各自治体では改善の取り組みが進められている。年度当初からの支給対応を検討してほしい。

答 現在では、県内の市町において入学前に支給しているところはないが、観音寺市では、29年度末に新1年生に限り新入学生徒学用品費を支給する予定。また、九州の福岡市・日田市等の先進的な取り組みを十分調査した上で、今後前向きに検討していきたい。

その他の質問

- 温室効果ガス排出対策
- 新規建設施設の維持管理について
- 入札参加資格について

三木 秀樹 議員

「緊急に改修が必要」とされた永康病院の改修原案について

問 県が永康病院の耐震化を公表（10月末）後、突然のごとく市は「改築案」を提出。この間、私が6年前から耐震化を再三追及しても、国の法が改正されても黙殺してきた経過がある。同病院の耐震結果は9年前に「緊急に改修が必要」と診断されていた。ここまで放置した責任は誰にあるのか。

答 責任は三豊市の機関。機関決定で今回の改修原案を諮っている。

問 4年前、地域医療検討員会で医療専門家が10〜20年先を見て、永康病院の耐震等も踏まえ「単独では経営が難しい」ことから、西香川病院との統合案等の答申にも、当局は答申を「棄却」した。今回の改修原案に、この間の指摘も含め専門的視野も必要で、全市民的問題として取り組むべきではないか。

答 一つの原案であり、今



▲永康病院の本館

後議会においても議論を深めていた
だきたい。

「公共事業」の水族館建設、計画通りに行けるのか

問 2年半前、屋島水族館の廃止（後に継続発表）により、詫間町に水族館建設問題が始まり、当初の「市が土地だけ提供」の民間事業方式から、公共事業（PFI方式）に変更してでも行おうとしている。入場費用で建設・経営費を年間20万人、20年間継続すればペイできるとのコンサルの計画をうのみにしているが、県内で3カ所（屋島、宇多津、詫間）の水族館、少子化等の中、何を根拠に毎年20万人の入場者があると判断したのか。

答 入場者数含め、事業採算は出資の企業や資金を提供する金融機関が判断すること考えている。

問 環境安全面で事故があれば、市は損害賠償を求められるが、建設企業等への監視・指導に責任がもてるのか。

答 *PFI方式では、それは建てた企業の責任、運営側の責任となる。

その他の質問

- 使用料の全面見直し
- 給付型奨学金
- 年間3万5千超の時間外

総務教育常任委員会

12月14日開催の総務教育常任委員会には17議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

28年度一般会計補正予算関係部分

問 運転免許証の自主返納報償金の補正について、昨年度と比べての返納件数の推移はどうなっているのか。また、報償金の内容はどのようなものか。

答 例年、春先は返納申し出の件数が少なく、年末にかけて増える傾向が続いており、本年度の決算見込みが既定予算額を上回る見込みとなつたことから、補正しようとするものである。また、報償金の内容については、三豊市内の温泉券、コミュニティバス乗車券および商品券の中から2種類を選択いただき、一人1万円を上限としてお渡ししている。

みとよ未来創造館条例の制定

問 高瀬町公民館を移設するにも関わらず、公民館の名を付けず、「みとよ未来創造館」と命名した理由は何か。また、使用料の減免規定については、いかに適用するのか。

答 みとよ未来創造館は、公民館としての機能だけでなく、図書館やまちづくり推進隊の事務所等が入る

など生涯学習の拠点施設としての位置づけとなることを踏まえ、命名した。また、当館の使用料の減免規定については、従前どおりの運用を考えている。

問 「みとよ未来創造館」のエリアについてだが、建物だけなのか、それとも新聞報道にあった現在の図書館、公民館等の跡地も含むエリアなのか。

答 あくまでも高瀬町農村環境改善センターから引き継ぐ建物のみを対象とするものであり、図書館等の跡地は含まれていない。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。



▲みとよ未来創造館として4月スタート

建設経済常任委員会

12月15日開催の建設経済常任委員会には3議案と1請願が付託され審査した。

主な質疑と答弁

28年度水道事業会計補正予算

問 水管橋が今度できる位置は、県が造る橋梁の下流側になるのか。また、県が発注した工事の負担金を支払うが負担比率はどうか。

答 現在大道橋の工事をしているが、上流側になる。また、工事費については、全額水道局の負担になる。ただし、旧大道水管橋の撤去についての、補償はいただけることになっている。

定住促進住宅設置及び管理条例の制定

問 入居者の収入月額額は、25万9千円を超えることはできないか。また、子育て世代とか、若い方の入居促進するために、古い風呂釜、間取りの悪さ、給湯も含めて、今の時代に合うようにできないか。

答 交付金事業であるので、準公営住宅としての運用が基本であるところから指導があり、できないものと考えている。改修は、雇用促進住宅を購入するものであるため、機構の譲渡条件が、現状での譲渡なので、現

在はできない。

瀬戸グリーンハイツ内の生活道の市道認定に関する請願

意 過去の歴史や現況などを踏まえ、現地調査の必要もあり、閉会中の継続審査にすべきと考える。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決、1請願は閉会中の継続審査とした。



▲定住促進住宅（外部）



▲定住促進住宅（内部）

民生常任委員会

12月16日開催の民生常任委員会には16議案と1請願が付託され審査した。

主な質疑と答弁

28年度一般会計補正予算関係部分

問 大野小学校跡地の測量設計、基礎データ収集とはどういう内容か。

答 新年度、山本地区の就学前施設の基本設計を行うに当たり、候補地である大野小学校跡地の基礎データを得るためである。

28年度介護保険事業特別会計補正予算

問 居宅介護サービス給付費と施設介護サービス給付費が多額の減額であるが、介護サービスの低下につながっていないか。

答 実績に対して減額したもので、適正な介護サービスを受けられないことはない。地域密着型介護サービス給付費が増額補正となっており、居宅介護サービス給付費から地域密着型サービス給付費へ移行した方が何人かいる。

工事請負契約の締結（28年度北部火葬場（仮称）火葬炉設備工事）

問 北部、南部ともに火葬炉が4炉で、北部は1億8,543万円、南部は1億800万円、約7千700万円の差が生じているのはなぜか。

答 北部は、地元から環境に対する要望があり、より環境基準を高め、集塵機のバグフィルターを取り付ける。南部についても環境基準は十分に満たす基準である。南部は近隣に堆肥舎があり、オゾン脱臭を取り付けた。地理的条件や要望に対応し、両施設の予算はほぼ同額の約14億円である。



▲北部火葬場外観イメージ図

印鑑条例の一部改正

問 印鑑登録証明書の性別欄の削除について、性的マイノリティーへの配慮とは。

答 契約関係には性別が必ずしも必要ではないため、人権に配慮するものである。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決、1請願は閉会中の継続審査とした。

総務教育常任委員会

8月17日(水)～19日(金)

「天草WEBの駅」(地域ICT事業)

視察先 熊本県天草市

概要 天草WEBの駅の取り組み背景は2市8町の合併、面積683平方キロと、わが市の3倍の広さでの地域連帯の課題が読み取れる。総務省の地域ICT事業活用モデル構築事業からの天草WEBの駅の取り組み(広すぎるが故の悩み)。活用事業の成果はあるが課題も大きい。運用経費のための会員の確保、市民サービスシステムと行政活用問題、機器更新の経費など。

移住・定住促進の取り組み

視察先 熊本県上天草市

概要 人の流れをつくり、人口減少の克服やまちの持続発展、地域の活性化の取り組み。移住相談アドバイザー・都市部での移住相談への参加・シティブロモーション・短期滞在プランの提供・定住支援・結婚支援・就職起業支援と多くの施策で展開。一応の成果はあるが課題も山積している。

特色ある観光施策

視察先 熊本県人吉市

概要 人吉温泉の歴史的ベースから、四季の企画宣伝の展開を学ぶ。国宝青井阿蘇神社、永国寺、武家屋敷、人吉城跡、SL運行など史跡旧跡に磨きをかけ売り出している。これからの取り組みとして、熊本地震二次被害からの復興。インバウンド誘致対策。日本遺産の活用。地域間競争から地域間連帯へと有る物を生かす、磨きをかける発想の転換が印象的。

人吉市からの道すがら、車中より益城町の被災状況を見させていた。自主防災組織の現実的起動組織としての組織化が急がれる。



▲上天草市にて

建設経済常任委員会

8月2日(火)～4日(木)

道路整備基本計画について

視察先 栃木県栃木市

概要 栃木市では、合併を重ねたが、道路整備のニーズに的確に対応し、市民に密着した「栃木市道路整備基本計画」を策定している。地域の声を反映した素案を作り、出来た段階で市民の声を聞くなどの対応をしている。

合併により、各地区で表示方法が異なるなどの問題を解決するために市道の再編を行い、道路台帳を新規に作成し、併せて道路管理システムを作り稼働させようとしている。

三豊市でも道路台帳作成事業を行っているが、市道再編の実施を望みたい。



▲栃木市にて

空き家対策について

視察先 長野県飯山市

概要 飯山市は豪雪地帯であり、屋根からの落雪、空き家の損壊や家屋の倒壊など適正に管理されない空き家は、生活環境、防犯、景観等様々な問題を引き起こす。そのため、空き家対策が進んだと思われる。また、移住・定住支援事業も、早くから取り組んでおり、住宅購入以外にも、多くの事業があり、三豊市でも研究課題としたい。

空き家は、生活環境、防犯、景観等様々な問題を引き起こす。そのため、空き家対策が進んだと思われる。また、移住・定住支援事業も、早くから取り組んでおり、住宅購入以外にも、多くの事業があり、三豊市でも研究課題としたい。

インターネットによる

鳥獣被害対策について

視察先 長野県塩尻市

概要 塩尻市は、総務省の「ICT街づくり推進事業」に取り組み、「地域児童見守りシステム」が稼働しており、これらのICT(情報通信技術)を利用した、鳥獣対策であり、追い払いや、活動範囲の把握などの効果が期待される。三豊市には、香川電波高専があり、共同でICT化の研究が図れば、鳥獣対策以外でも大きな成果が期待できると思われる。なお、塩尻ブランドの取り組みについても研修を行った。



▲アニマルセンサー

民生常任委員会

8月17日(水)～19日(金)

久美浜病院の取り組みについて

視察先 京都府京丹後市

概要 京都府立医科大学付属北部医療センターと、教育支援協定を締結。大病院が有する高度医療を活用し、地域の医療水準の向上と若手医師の医学教育の充実を図っている。地域密着型の病院として、保健・医療・福祉を一体化した包括医療を推進するとともに医療体制を支え、地域に貢献している。久美浜病院では、医学生滞実習、奨学金制度を実施することで、奨学金受給者が後に活躍するなど医者の確保、育成にも力を入れている。安心して住み続ける地域づくりに、医療を通じて真剣に取り組んでいる。

寺部ファミリー園について

視察先 愛知県豊田市

概要 豊田市初、小学校とこども園の合築で建設が計画される。小学校とこども園それぞれの活発な交流や地域ぐるみの教育が促進できる機能を配置したほか、公共施設としては最大規模の木造化整備を行っている。現在、園児と生徒の交流が、効



▲久美浜病院(京丹後市)にて

率よく行事としてうまく機能している。さまざまな行事によって、園児たちも人の温かさを感じ、泣いたりパニックになることなく落ち着きをもつなど、相乗効果がでてきている。少子化となりうる近い将来、理想的な仕組みであると感じた。

障がい者千人雇用事業について

視察先 岡山県総社市

概要 総社市では、市を挙げて障がい者の雇用を促進するため「総社市障がい者千人雇用推進条例」を制定。また、ハローワーク総社と連携して障がい者・企業の双方をサポートするなど、職場定着のための支援を行う体制を構築している。きめ細やかな職員のフォローに、驚きを感じた。一人ひとりが自立し、安心して地域で暮らせる社会づくりを行っている。

議会運営委員会

10月19日(水)～21日(金)

議会改革・運営・タブレット端末導入における議会運営に対し、取り組み全般を次の事項について調査した。

議会改革・議会運営について

視察先 兵庫県西脇市議会

概要 山梨学院大学法学部教授を招へいし、評価・検証手法を学び、検証結果をHPに掲載、政策討論会、議会による政策サイクルの導入、公の連携とした取り組みなど。

タブレット端末導入等における

議会運営について

視察先 滋賀県大津市議会

概要 議場の音響設備を長期計画とし赤外線マイク・電子採決システムを導入し、予算決算常任委員会にも対応。また、インターネット議会中継におけるタブレット・スマートフォンからの視聴を開始、タブレット端末導入によりペーパーレスによる経費削減と議会運営の効率化など。

議会運営全般について

視察先 愛知県大府市議会

概要 市議会議員政治倫理条例、議員問討議、議会報告会、勉強会や市民関係団体との情報交換の実施。地域力の向上、地域組織の現状と課題等、他に危機対応要綱について研修した。

3市議会における研修の内容として、タブレット端末導入によるペーパーレスや経費削減を図るとともに、議会運営の効率化を進めている。本議会運営委員会としても、今回の視察研修を参考にして開かれた議会の活性化に努めていきたい。



▲西脇市議会にて

議会活性化特別委員会

10月12日(水)～14日(金)

議会改革の取り組みについて

視察先 石川県加賀市議会

概要

- ① 会議などはライブ中継、インターネット配信によって全部公開している。
- ② 子ども議会、女性議会、休日夜間議会の開催。
- ③ タブレットの導入、Wi-Fiの設備を行っている。
- ④ 市民団体と意見交換会の開催。通年議会、議長の所信表明、事務事業施設評価は実施していない。反問権は取り入れていないが、自由討論は行っているようである。

視察先 岐阜県高山市議会

概要

- ① 全員協議会の廃止、事前協議の取りやめ。
- ② 反問権の導入、出席職員にも適用。
- ③ 政策討論会、調査を行い政策提案につなげる。
- ④ 政務活動費は後払いを行い、視察などの内容はインターネットにより報告している。
- ⑤ 高齢者および子どもたちとの意見交換会を行っている。

視察先 三重県四日市市議会

概要

- ① 開かれた議会を目指している。議員間討議を行っている。
- ② タブレットの導入と委員会配信を行っている。
- ③ 本会議、常任委員会、一般質問の市民によるモニター制の導入。
- ④ 議会報告会を市内24ブロックで行っている。
- ⑤ 通年議会、年間を通じて議長招集により議会を開会できる。
- ⑥ 反問権は議会基本条例の運用規定による。
- ⑦ 文書質問は議会開催以外においても執行部に質問できる。
- ⑧ 3市議会の行政視察を行う事によって、本市の議会改革を果敢に取り組み、市民との意見交換会などを開催し、政策提案をしなければいけないと思うとともに、今後は開かれた議会を目指さなければいけないと思う。



▲加賀市議会にて

議会広報委員会

10月27日(木)～28日(金)

議会広報紙・

議会ホームページについて

視察先 岐阜県可児市議会

概要

市内ボランティアの協力を得て声の議会だよりをホームページと図書館で視聴出来る。読みやすい紙面づくりを目指し、議案よりも分かりやすい見出しを心掛けている。議会だよりと議会ホームページがリンクしており、一般質問のページにQRコードを付けスマートフォン等から簡単に動画サイトに接続できる。ホームページでは賛否の分かれた議案の評決結果の公表や政務活動費は領収書まで公表している。

視察先 三重県亀山市議会

概要

市民アンケートで広報紙は70%の市民が見ているが、ホームページはほとんど見ていないことが分かった。議員アンケートを実施しタブレットを導入し、効率化を進めていくとともに、政務活動費を公表し議会での課題も公表、開かれた議会の視察報告を載せる等の取り組みを行っている。映像配信は、本会議

以外にも、委員会審査をネット配信録画でも中継し、市長執行部と議会の緊張感の中での審査状況を発信、市民に開かれた議会のアピールに努めている。

可児市議会・亀山市議会の両市議会での視察研修を通じて思ったことは、いかに開かれた市議会を、どのように伝えていくかである。市議会だよりをさらに読みやすくしていくか。議会ホームページで、議会の審議内容をわかりやすく伝え、多くの市民の皆さまに見ていただけるようにしていくために、学んだことを一つからでも取り入れる事が出来なにか等、一丸となって今後も調査研究を続けていく決意である。



▲可児市議会にて

「市政に対する要請書」提出

5月22日から6月5日までの間、市内26会場で議会報告会を開催し、約600人の市民の皆さまの参加がありました。報告会では、まず議員から28年度予算についての報告をし、その後参加された皆さまからの貴重なご意見やご提案を頂きました。その中から市の問題や緊急を要する案件8件を抽出し、市民の声として、よりよい三豊市づくりに役立てたいと「市政に対する要請書」とし、12月6日の本会議場において城中議長より、横山市長に提出しました。その内容をお伝えします。



1. 防災対策の強化

- (1) 自主防災組織の編成強化
- (2) 防災教育の普及・徹底

2. コミュニティバス運行事業の維持

- (1) 市民生活に密着した路線運営
- (2) 市民に財政を含めた収支の公表

3. 新総合計画の管理

- (1) 議会への事前説明
- (2) 市民への説明

4. 人口減少対策

- (1) 縦割りを排除した組織横断的な対応
- (2) 具体的な計画の保持と目標の設定

5. 学校再編整備

- (1) 三豊市立学校再編基本方針について
- (2) 計画から遅れている取り組みへの対処

6. 有害鳥獣対策事業の拡充

- (1) 有害鳥獣感知システムの開発
- (2) 有害鳥獣対策事業の補助事務の効率化

7. 住宅リフォーム助成事業の継続

8. 環境美化の取り組み強化

- (1) 環境美化教育、3R運動の推進
- (2) 市民による美化運動の推進
- (3) 不法投棄対策の拡充
- (4) ごみのポイ捨て防止

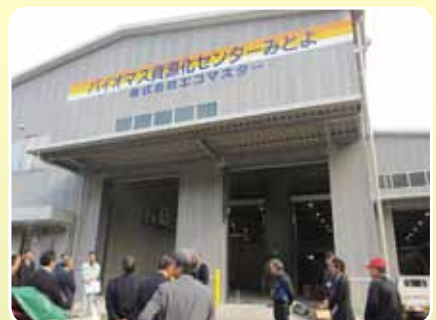
「バイオマス資源化センターみとよ」 現地視察

山本町に建設中であった市の燃やせるごみの委託処理施設「バイオマス資源化センターみとよ」がほぼ完成となり、平成28年12月5日に民生常任委員会で現地視察を行った。

平成29年4月1日の本格稼働に向け、平成28年12月16日より三豊市の可燃ごみを投入しての試運転が始まる。

「バイオマス資源化センターみとよ」は、三豊市の燃やせるごみをコンクリート製のバイオトンネルに詰め込み、コンピューターにより温度、酸素濃度水を制御し、微生物により発酵乾燥処理が行われる。それを選別機で分別し、紙、プラスチック類を圧縮梱包する。そして市外の固形燃料製造工場へ運搬され、三豊市の可燃ごみは固形燃料として再生する仕組みである。

施設内だけでなく、6本のバイオトンネル内奥部まで見学し、ごみの臭気が外に漏れないようにするバイオフィルターの脱臭効果機能についても説明を受けた。ごみを燃やすことなく資源にし、CO₂発生を抑制できるバイオマス資源化センターである。



三豊市に住んでみて



三豊に来て7年目

山本町 岩倉 洋平さん



話が理解できない事も多々ありましたが、地理感覚や周辺施設も全く分からない状態でしたが、今こうして地元の魅力を発見できるようになったのは、「まちづくり推進隊」「みとよ観光100年会議」といった地域活動や「自治会」活動へ参加することで人との繋がりが出来たからだと思います。

私は7年前に大阪から三豊市へ移り住みました。千葉で生まれ育ったものですから香川の知識と比べ『四国・うどん』くらい知識がなく、ましてや『三豊市』は初めて聞く地名でした。移居前から香川には来ていましたが、来るたびに瀬戸内海が気に入っていききました。山本町は残念ながら海はありませんが、夕方の山並みと宝山湖の景色がとてもきれいで気に入っています。

初めは方言が分からず会



仕事面ではプログラミング関係の学校講師を受ける機会が増えてきました。香川・三豊市の魅力はたくさんありますが、エンジニアの卵が多く存在しているという事も魅力の一つです。これからも香川県・三豊市の魅力を発見していきたいと思っています。

子育ての環境に喜びの声が

三野町 田井 清さん

私は三豊市三野町に生まれて63年、兄弟5人の4番目の次男としてこの地で育ち、子ども3人に恵まれ、今では孫8人となりました。私の母が早く亡くなった事から、わが子の子育てには、兄弟、親戚また近所のおばさんに大変お世話になりました。そんなことから今から22年前に子育てに困っている人の応援をしようと、妻が子どもを預かったことから、保育園を開設。今では三豊市より学童保育・乳幼児一時預かり事業の委託事業に携わっています。特に保護者やおばあちゃんたちの声は「三豊市はええ

な」。子育ての環境はよそにはないでー」と喜ばれています。これには、行政に携わる市職員や議会の応援があつての事業です。これからも地域に根ざした保育事業として専念してまいります。保護者の方々の「ありがとうございますました」の声が関係機関の人々に届いてほしいものです。



編集後記

昨年は、議会にとっても10年の節目の年でした。これまで積み重ねてきた数々の議会改革の取り組みを礎に、企画を展開してきた一年でした。より細やかな議会報告会や、10周年を記念して開催した、地元出身のNHKキャスター河野憲治氏の公開議員研修会等、全ては、市民の皆さまにとって価値ある議会となるための挑戦でした。

この思いが、議会広報紙を通して伝わったでしょうか。市民の皆さまとともに、今後とも歩み続けます。

議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 込山 文吉 |
| 副委員長 | 市川 洋介 |
| 委員 | 為広 員史 |
| | 大平 敏弘 |
| | 金子 辰男 |
| | 詫間 政司 |
| | 岩田 秀樹 |



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。